共栄社

コース管理を超省力化

「無人芝刈機」の正式販売開始

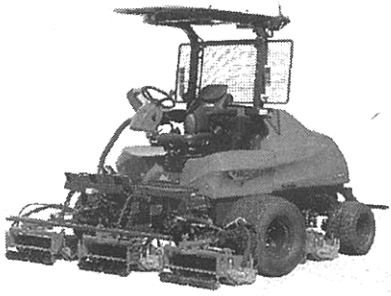
林社長

㈱共栄社＝愛知県豊川市美幸町1―26・☎0533（84）1221・林秀訓社長＝はゴルフ場コース管理作業の超省力化と高効率化を実現するフェアウェイのバロネス無人芝刈機「無人5連リールモア　ULM271」の販売を11月よりスタートした。

同社では十数年前より無人芝刈機の研究を開始。2011年からは人口減少によるコース管理スタッフの人出不足や技術伝承問題を予見し、ICT技術を応用した無人芝刈機の開発に本格的に着手した。その中で、最も省力化が求められるフェアウエイでの刈り込み作業に焦点を当て開発にあたってきた。2019年9月からテスト販売を行い、高い成果を上げてきたことから、今回正式に販売を開始した。

この無人芝刈機は人工衛星の測位システムを利用したもので、芝刈機メーカーとして正式販売しているのは世界で唯一共栄社だけ。RTK（動的干渉方式）システムにより高精度の位置測定と、正確な運転再現技術による芝刈り作業が可能。動力にはディーゼルエンジンを採用。走行、作業機部は油圧システムにより駆動する。

【特徴】①ティーチ・MAP方式を採用。熟練スタッフの「刈り込み作業データ」を芝刈機が記憶し、同じホールでも違う作業形態（刈り込み方向、クリップピッチ等）を簡単に記憶できる。また、機械の大型タッチパネルから再現したいデータを選択することで簡単にプレイバックできるなど、オペレーション技術の蓄積と伝承に有効②フェアウエイ刈り込み中にコース管理スタッフは他の作業を行うことができるので、1人で複数の作業が可能。また、無人運転は時間を選ばずに作業できることから、スタッフの人出不足解消にもつながり、休暇取得などによる作業シフトへの影響も軽減できるため、働き方改革の取り組みにつながる③追従機能により先行する有人機械に無人機械を作業場所まで追従させることができので、無人機の作業中に同時進行で有人機によるほかの作業を行え、作業時間の大きな効率化が可能。



無人5連リールモア「ULM271」

同社では「ラフモア、管理機とラインアップの拡充を予定している。将来的には1人のコース管理スタッフが複数台の無人機を操作し同時作業ができる画期的なターフ管理効率化を目指している。無人機を次世代のスタンダードとしていきたい」と無人機シリーズの今後の展望を示している。